

品川・荏原空襲の碑をつくるプロジェクトニュース NO1 2026.4.6

4月4日雨のスタート集会40名を超える参加

経過

- ・戦後80年の年に「城南空襲を語り継ぐ会」「品川平和のための戦争展」で5月24日の空襲を記憶に残すものをつくろうと呼びかける。
 - ・賛同者に呼びかけプロジェクト始動。
- 4月4日スタート集会

感想から

品川がこんなにも空襲を受けていることを初めて知りました。60代は戦争のことを肌で感じられる世代だと思います。伝えていくのが使命ですね。

大変良かったです。プロジェクトに参加したい。

知らないというのは恐ろしい!子どもたちに歴史の一コマをキチンと伝えたいものだ。戦争はだめだと広げていこう。

地域の歴史をまとめ、次代に引き継ぐのはとても意義あることだと思います。「米屋先生のおっしゃった逃げるのはとても勇気のある事。地域の先人たちが命を守るために勇気をもって逃げたことしっかり伝えたいと思います。

平塚小にいたが希望の像に気づかなかった。古いアルバムに「希望の像」が写っていた。ぜひ、この像の前に「品川・荏原空襲の碑」建てたい。

身近なところに戦争遺跡をつくることはよいと思う。戦争の記憶としては、平和島の連合軍捕虜収容所のことやRCCVのことなども冊子では紹介してほしい。

事務局からの報告と訴え

- ・品川の空襲は知られていない。伝える人が高齢化。
- ・5月24日の空襲を知るモニュメントは一つもない。
- ・「品川が焼け野原になった」記憶を伝えたい。
- ・国民学校が36校中9校しか残らなかったのは、象徴的。焼けて廃校になったが、再興した「平塚国民学校跡」は碑を建てるのにふさわしい。
- ・品川区にぜひ碑を建ててほしいと要請する。
- ・私たちは賛同者を集め、市民として知らせる活動を行う。



焼け跡歩きをスライドで紹介



小島義一さんの空襲体験画



呼びかけ人からの発言



外に出たらちょうど雨が上がって「平塚国民学校跡」の表示と希望の像を見ることができました。

プロジェクトは5.24「城南空襲を語り継ぐ」の展示に参加して経過報告をします。

城南空襲を語り継ぐ

2026.5.24 sun.11:00~16:00
品川歴史館 2階講堂